

Ⅱ-1. 研修内容に関すること(新人看護職員研修)

1. 研修期間 (12) か月

2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付けて 下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容	
		講義	演習				
4月1日	職業人としての 姿勢を学ぶ	○		院内(講堂)	4	病院、看護部の概要・組織人としての心得・看護体制・看護師の 姿勢	
4月4日	職業人としての 姿勢を学ぶ	○		院内(講堂)	4	教育体制・フィッシュ哲学・接遇	
4月5日	新人研修 について	○		院内(山辺 教室)	1	オリエンテーション・自己紹介	
4月5日	技術研修	○	○	院内 (山 辺 教室)	病棟	7	1.環境調整 2.排泄の援助 3.活動・急速の援助(ベッドメイキング・シーツ交換・便器、尿器 介助・移動介助・移送等)
4月6日	技術研修	○	○	院内 (山 辺 教室)	病棟	8	1.バイタルサイン観察 2.血糖値測定 3.配膳(食事介助技術・下膳) 4.心電図モニター 5.酸素吸入方法
4月7日	技術研修	○	○	院内(山辺 教室)		8	1.採血方法 2.感染予防 3.安全確保(静脈血採血方法・標準予防策・手洗いと手指消毒・ 患者誤認防止)
4月8日	技術研修	○	○	院内(山辺 教室)		8	1.清潔・衣生活援助 2.創傷ケア 3.与薬 4.入院・外来の流れ(入浴介助・清拭・寝衣交換・口腔ケア・褥そ う予防・注射、内服・静脈内注射・点滴とプライミング)
5月23日～ 27日	採血技術研修		○	院内(健康 管理室)		2	1.採血の準備 2.職員健康診査の採血の実施 3.採血後の後片付け 4.スタンダードプリコーション実施
6月23日	ME機器の 基礎知識	○	○	院内(山辺 教室)		1	1.基礎知識 2.輸液ポンプの取り扱い 3.シリンジポンプの取り扱い

6月23日	倫理と医療安全	○		山形県看護協会(研修センター)	6	1.看護際の倫理規定 2.看護師の法的責任 3.医療安全の基礎知識 4.安全な与薬について 5.グループワーク KYT
7月4日	3ヶ月の振り返り研修			院内(講堂)	1	3ヶ月を振り返り、感じたことをフリートキング。フィッシュ精神で生き生きと働こう！！
7月12日	防災訓練		○	院内外	1	1.避難経路・防災用品の確認 2.安全に患者を避難させるための方法 3.消火訓練
8月25日	心と体のリフレッシュ研修		○	院内(講堂)	1	1.音楽にあわせ体を動かし楽しむ 2.自律訓練法を学ぶ。リラクゼーション体操
8月29日	薬剤の管理・放射線科研修	○		院内(講堂) 放射線科	1	1.一般薬に関する基礎知識を理学び実践現場に役立てる 2.放射線検査の基礎知識を学び実践現場に役立てる
8月中	夜間研修(患者なりきり研修)	○	○	各病棟	8	1.ベッド臥床患者の気持ちを理解し心に沿ったケアが出来る 2.夜間の病室環境を理解し安全安楽な療養環境が提供できる
9月6日	楽しもうコミュニケーション	○	○	看護協会	6	1.コミュニケーションの基本・留意点 2.コミュニケーションを高める「魔法の質問」 3.コミュニケーションスキルを学ぶ
9月26日	6ヶ月の振り返り研修			院内(山辺教室)	1	1.チーム医療を理解し組織の一員であることを自覚できる 2.夜間患者なりきり研修からのグループワーク
10月3日	学ぼう私にもできる急変時の対応	○	○	看護協会	6	1.救急看護 2.急変時の観察・報告ポイント 3.急変時対応の知識と技術 4.急変の徴候とアセスメント 5.グループワーク
10月20日	フィジカルアセスメント	○	○	院内(講堂)	1	1.呼吸器系におけるフィジカルアセスメントの基本を学ぶ 2.摂食機能療法におけるフィジカルアセスメントを学び口腔ケアの重要性を学ぶ
10月31日	輸血に関する研修 毒薬・劇薬・麻薬の薬剤の管理	○		院内(講堂)	1	毒薬、劇薬、麻薬、血液製剤、輸血に関する知識を理解し、看護実践の場で安全に実施できる
11月1日	事例報告会について	○		院内(講堂)	1	新人のまとめの事例報告、今後の日程、発表方法、パワーポイント作成について説明

11月15日	生き！生き！2年目につなげよう	○		看護協会	6	1.生涯教育の重要性 2.自己のキャリア開発 3.2年目の役割と責任
11月16日	BLS・AED研修	○	○	院内(講堂)	2.5	1.心肺蘇生法及の基本を学ぶ 2.AEDの使用法を学び実践可能になる
12月5日・6日	急変時の看護	○	○	院内(山辺教室)	1.5	1.救急救命について学ぶ 2.気管挿管の準備と介助が指導のもとできる 3.観察、対応、処置について学び実践の現場で活用できる 4.理解度テスト
12月12日	危険予知トレーニング	○	○	院内(講堂)	1	KYTについて理解し、実践の場で活用することで、安全な看護・環境を提供できる
12月19日	当院の栄養管理	○	○	院内(講堂)	1	1.栄養管理に関する基礎知識実践現場にいかすことができる 2.治療食に関する基礎知識と注意点について学び実践現場で生かすことができる
2月8日	看護必要度研修	○	○	院内(講堂)	3	1.看護必要度について必要性を理解できる 2.各項目の評価基準について理解する。 3.講義・演習・試験
2月26日	事例報告会			院内(講堂)	4	一年間の学びを事例を通し報告する
3月9日	12ヶ月最終振り返り研修			院内(山辺教室)	1	一年間を振り返り2年目に向けてのステップにする

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

・新人教育担当責任者・委員会、新人受け入れ部署、プリセプターが連携して教育指導する。

4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

・集合(技術研修)や他部署研修を企画して出来るだけ経験できるよう工夫している。

5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

・経験できる部署へ研修を依頼。集合研修で挿管や救急トレーニングなどはシミュレーションモデルなどを使用研修

Ⅱ-2. 研修内容に関すること(新人保健師研修)

1. 研修期間 (12) か月

2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	研修テーマ	形式※2 (該当項目 に○を付け て下さい。)		研修場所 (※3)	時間数	研修内容
		講義	演習			
3月1日	特定検診の保健師の役割	○		部署内	3	保健師の役割・特定検診のねらい・保健指導の進め方
4月1日	特定検診の保健師の役割	○	○	部署内	3	保健師の役割・特定検診のねらい・保健指導の進め方
6月17日	特定保健指導に必要な知識と技術	○		院外	8	基礎編: 健診、保健指導の理念・保健指導の概論および基本的事項・保健指導の立案から評価 技術編: 「行動変容に関する理論」生活習慣病改善のアセスメント・講堂計画」「生活習慣病予防」「身体活動・運動」「メタボリックシンドロームの概念 健診結果と身体変化・生活習慣の関連」
6月18日	特定保健指導に必要な知識と技術	○		院外	8	技術編: 生活習慣病予防に関する保健指導「たばこ・アルコールに関する保健指導」「食生活に関する保健指導」「コーチングの技術」「行動変容につながる保健指導」保健指導の展開(演習) 保健指導の評価
7月	栄養管理について	○		特定検診室	2	生活習慣病の予防: 栄養管理
8月	生活習慣病について(高血圧)	○		部署内	1	生活習慣病を理解し、保健指導に活かす
9月	生活習慣病について(糖尿病)	○		部署内	1	生活習慣病を理解し、保健指導に活かす
10月	生活習慣病について(脂質異常症)	○		部署内	1	生活習慣病を理解し、保健指導に活かす
11月	禁煙について	○		部署内	1	生活習慣病を理解し、保健指導に活かす

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 形式には講義・演習の当てはまる方に○を記入して下さい。両方に○を記入しても差し支えありません。

※3 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※4 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

・教育担当副看護部長(研修責任者)・特定検診指導チーム

4. 各看護単位では経験できないが、新人看護職に必要な知識・技術の修得方法

・院外研修にて習得

5. 経験できる技術が少ない場合の工夫

・特定検診チームのカンファレンスにて指導レベルの向上を図る。

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価時期(自由にご記入ください)

・6月、9月、12月、3月 技術及び目標の評価

2. 評価者(自由にご記入ください)

・自己評価・実施指導員(プリセプター)・新人教育担当者・部署長

3. 評価方法(自由にご記入ください)

・新人指導要綱の新人技術チェック表を用いて、目標値に沿って評価を行う。

IV. 指導者等の育成に関すること

1. 実地指導者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

- ・院内のプリセプター研修
- ・山形県看護協会主催「新人教育実施指導者研修会」受講(5/19)

2. 教育担当者の育成に関する取り組み(研修の実施等)について(自由にご記入ください)

- ・山形県看護協会主催「公開講座新人看護職員臨床における研修責任者研修」受講(4/23)
- ・ " 「新人看護職員臨床における研修責任者研修各論」受講(4/26・4/27)
- ・ " 「新人看護職員臨床における研修担当者研修」受講(5/24・5/25)
- ・ " 「新人看護職員臨床における研修責任者研修次年度に向けて」受講(11/22)

V. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

- ・看護協会新人研修の受講:新人のリフレッシュと人事交流を目的に全新人看護師を受講させている。
- ・技術シミュレーションモデルの購入により、各部署で個別的トレーニングができる。
- ・指導者育成として看護協会指導者、管理者研修を受講させ、レベル向上を図っている

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

- ・新人指導時間と技術モデルの購入、研修費の確保等ができ、十分な教育計画を立てることができる。
- ・新人の研修時間が、診療報酬による勤務時間として加算ができれば、小規模、中規模病院の教育交流ができると考えます。